

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	52	家庭的な空間においても、家具の置き方や意味のある生活環境作りまで出来ていない部分がある。また、個人の尊重を前提とした環境作りや、いつ誰が来てもおもてなしの出来る設え(季節に合わせる、誰が見ても気持ちの良い)が整っていない部分がある。	<ul style="list-style-type: none"> 利用者にとっての快適な生活環境を整える。 季節に合わせ、いつ誰が来て気持ちの良い生活環境とする。 意味のある生活用品の設置、居室等のプライバシーへの配慮を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 各居室を、意味のある生活用品の配置とし、その人にとって居心地の良い環境作りを行う。(担当職員が実施) 季節の設え作りを行う。(担当者を決め、毎月又はその時期に合わせて環境を整える) プライバシー、居心地の良い空間の意味を共有し、常に保つようしていく。 	6ヶ月
2	49	感染症が5類へ移行し、徐々に家族との外出や地域行事、季節の外出に出られるように努めているが、日常的にちょっとしたお出かけや、楽しみとなる外出支援が少しでも増える事で、利用者の生活意欲や楽しみに繋げていけたら良い。	<ul style="list-style-type: none"> 計画的な家族会や、外出レクリエーションを立案し、実行する。 今日外出したいという気持ちの時に、ちょっとした散歩や外出支援が出来るようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 複合型施設の強みを活かし、事務営繕職員等と協力し、グループホーム内で完結せずに、ふれあいの里として利用者の生活を作る。 	12ヶ月
3	35	BCP作成が終了し、実際有事の際に、BCPの内容が可能な計画となっているのか、検証していく必要がある。	<ul style="list-style-type: none"> BCPの内容を職員が知る事が出来る。 BCPの内容に沿った訓練を実施し、実際に可能な計画か検証し、有事の際に可能な計画を再構成していく。 	BCPを職員が把握し、BCPIに沿った訓練を実際に行う。計画は防火防災委員会、感染症対策委員会中心に、年2回ずつは訓練を行える様に計画する。	12ヶ月
4	23	利用者の生活の中でのつづやきや想いをくみ取り、ご家族等にもお話を聞きながら、希望に合わせた生活を続けられるように努めているが、言葉での表現が難しい方、重度化する場合における対応等でも、本人の意向を把握出来るようなチーム内共有をしていきたい。	<ul style="list-style-type: none"> 日々の生活の中でのつづやき、感情の変化に早期に気づき、一人ひとりに合わせたケアを検討する。 重度化する前に、出会った時から本人の意向を確認し、家族との関係性も大切にしていく。 	<ul style="list-style-type: none"> 利用者のつづやきや想いを職員同士が申し送りやミーティングの中で共有し、チームケアを展開していく。 ご家族面会の際には、細かい事でもお伝えし、日々の信頼関係を構築していく。 	6ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。複数のユニットを有する事業所において、事業所全体でユニットごとの目標の総括を行う場合は、本様式を1つ作成して下さい。